

公表:令和 6年 3月 1日

事業所名児童発達支援・放課後等デイサービスモモの

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			活動内容、行事等により十分なスペース確保が難しいことがある為、集中する時間の活動人数を分けるなど工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	4			配置数は足りているが、意識的に全体を見るための職員同士の声掛けが必要。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	1		階段、トイレなどバリアフリー化していない。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	2		業務内容以外にも、子ども達が来てからの動きや対応等、話し合える会議をもっと持たりたいなと思います。全員集まっただの会議の場が少なく、話し合えてない事柄もある。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3			送迎時や電話連絡の際に、意向を把握している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			HPの公開を行っている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3		1	今後の検討課題。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	2		結果の報告は出来ていると思いますが、そこからの振り替えりから、次にどう繋げていくかを話し合いたいです。コロナ収束後は、積極的・主体的に研修に参加していき、事業所内でも充実させていく必要がある。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			連絡帳のやりとりなどでタイムリーな情報共有が出来ている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3			他機関での心理検査を頂いて活用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			それぞれに意見を出し合い、協力していると思う。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			前年度のプログラムやその時期ならではの行事を参考にしながら話し合って立案している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			休日・長期休暇においては、野外活動など平日には難しい体験活動を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			個別活動・集団行動、両方の視点から計画を立案している。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			職員配置や、役割分担の打ち合わせを必ず行っている。
---	---	---	--	--	---------------------------

	⑩ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			気になる点はすぐお話しするようにしています。子どもたちの様子等もっと職員同士で共有できたらと思います。気づいた点や支援をどうしていくか職員間でやりとりしている。
	⑪ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			限られた時間内であっても丁寧な記録に努めている。
	⑫ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			保護者との振り返りを行った上で、見直しを行っている。定期的に個別支援計画会議を行い、児童の状況把握を行っている。
	⑬ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4			アセスメントを基に、優先順位をつけて目標を設定した計画を策定している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			
	⑮ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			学校によってできているところと、できていないところがある。
	⑯ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2			対象児童の在籍なし。
	⑰ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	1		都度必要に応じて、情報共有と相互理解をしている。
	⑱ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2			現在対象児童の在籍なし。
	⑲ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			札幌市地域支援マネージャーの巡回訪問で定期支援、助言を受けている。
	⑳ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2		2	公園や外出時に機会がある。
	㉑ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	1		参加職員の人数を増やし、会議に参加できる機会を増やしていきたい。
	㉒ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			送迎時や連絡帳、電話などで情報共有している。
㉓ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	1	1		

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			見学時や契約時に詳しい説明を行っている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			送迎時や連絡帳などで行っている。保護者から気軽に相談しやすい関係を作っておくように努める。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2		1	保護者のニーズに合った活動作りをしていきたい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			頂いた相談や申し入れに対しては、迅速かつ適切に対応するようにしている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			毎月、活動プログラム等のおたよりを配布している。連絡事項等は都度、おたよりや電話連絡している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	4			取扱いに関しては、その都度、目的や内容について保護者の方に確認し、了解を得た上で、関係機関と連携している。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			子どもの特性など把握した上で、配慮している。
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4			地域の方も参加できるかき氷パーティーを開催した。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1		保護者への周知や訓練などは不十分である。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			防災委訓練(地震・火災)、防犯訓練を月に1回ずつ実施している。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			虐待防止委員会を中心に研修会を実施している。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3			該当している児童なし。身体拘束を行う状況下等についての説明は、支援計画へ記載している。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3			該当児童無し。
④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3			ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を作成・保管し、常に職員が閲覧できるようにしてある。	

◎ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。